

標準委員会 第9回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2010年6月2日（水） 10：00～12：00

2. 場 所 日本原子力技術協会 C, D会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 平野（光）（部会長），山口（副部会長），成宮（幹事），越塚，桐本，野中，本間，吉田（一），倉本，町田，松本，大嶽，橋本，守屋，竹山，宮田（浩），福山，関根，山下，佐々木，宮田（知），吉田（智）（22名）

（代理出席委員） 北村 豊（瀬谷崎代理），住田 侑（梶本代理）（2名）

（欠席委員） 岡本，村松，松岡，小野（4名）

（常時参加者） （0名）

（傍聴者） 安田，菅原，中村，河井（4名）

（事務局） 岡村

4. 配付資料

- RKTC9-1 第8回リスク専門部会 議事録（案）
- RKTC9-2 人事について
- RKTC9-3-1 停止時 PSA 実施基準（案）の公衆審査結果
- RKTC9-3-2 公衆審査コメント対応表（案）
- RKTC9-3-3 標準改定案公衆審査コメント対応版（案）
- RKTC9-4-1 リスク情報活用実施基準（案）の公衆審査結果
- RKTC9-4-2 リスク情報活用実施基準（案）抜粋
- RKTC9-5 内部溢水 PSA 分科会の活動状況
- RKTC9-6 原子力学会リスク専門部会講習会の実施について（案）
- RKTC9-7-1 2010年原子力学会 春の年会（3/26-28）企画セッション発表報告
- RKTC9-7-2 2010年原子力学会 春の年会（3/26-28）企画セッション発表資料
- RKTC9-8 ICONE18 発表資料
- RKTC9-9 標準の体系（案）
- RKTC9-10 原子力学会リスク専門部会における標準策定スケジュール（案）（至近3年）
- RKTC9-11 標準委員会 書面投票の電子化について

参考資料

RKTC9-参考1 リスク専門部会委員名簿

RKTC9-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局より、開始時点で委員28名中代理委員を含めて23名が出席しており、決議に必要な定足数（19名以上）を満足している旨報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（RKTC9-1）

事務局より、事前配布した前回議事録（案）についてのコメントは無かった旨説明した。

誤記1箇所を修正することをもって、議事録（案）は承認された。

(2) 人事について（RKTC9-2）

事務局より、リスク情報活用分科会主査の平野（雅）委員の退任が報告された。さらに、平野（雅）委員は、リスク情報活用分科会の代表者であったことから、同分科会で新たな代表者として、本専門部会の成宮幹事が選ばれた旨紹介し、承認された。

(3) 停止時PSA実施基準（案）の公衆審査結果とその対応について（RKTC9-3-1～3）

事務局より、RKTC9-3-1に基づき公衆審査結果を紹介した後、停止時PSA分科会幹事である吉田委員より、RKTC9-3-2及び3に基づき公衆審査意見への回答（案）が紹介され、審議の結果、一部修正して各委員に再度送付することを条件として、標準委員会に報告することを承認した。

主な質疑等

- ・ 意見3にあるLPFの定義であるが、低圧注入系という特定の系統のみを対象としているが、本標準としてはそれで良いのか。
 - 表の中で例として出るだけであり、問題は無い。
- ・ 意見9の回答で、燃料プールに取出した状態について記載しているが、本標準の対象外であり、冒頭に書くのは誤解を招く。もし燃料プールのことを説明するなら、“準用することは可能”の後に追記するべき。
- ・ 意見9の対象となった文章であるが、“設計、手順書及び運転方法に基づいて”は、“炉心損傷の判定条件を設定し”ではなく、その後ろにかかるのではないか。文章の順序を変えるべきではないか。コメントの趣旨にも合うはず。
 - 拝承。
- ・ 意見7の回答で、「移行リスク」の一般的意味は国によって異なっていないとしているが、そこまで書く必要は無いのではないか。「国によって異なっている可能性はあるが、・・・」といった表現にすべき。
- ・ 同じく意見7の回答で、解説の2.2)の修正は、もともとの解説の文章の方が良い。
- ・ 目次の上に消し忘れた誤記が残っているので削除すること。
- ・ 意見13であるが、指摘の通り「13. 不確実さ解析及び感度解析」は、「12.5 定量化結果の分析及び検証」で考慮すべきもの。12.5で、13について触れておくべき。
 - 本来、12と13は並行して行うべきもの。
 - どの項目も必要に応じてフィードバックをかけるのは当然。今回は12.5に追記することとする。
- ・ 修正結果を、標準委員会に報告する前に各委員に送付すること。

(4) 原子力発電所の安全確保活動へのリスク情報活用に関する実施基準（案）の公衆審査結果について（RKTC9-4-1～2）

成宮幹事より、RKTC9-4-1に基づき、公衆審査意見が無かったことが報告された。また、RKTC9-4-1に基づき転載許諾に係わる修正について説明が行われた。

審議の結果、修正を了承した。

(5) 溢水PSA分科会の活動報告 (RKTC9-5)

成宮幹事より、資料RKTC9-5に沿って溢水PSA分科会の活動状況が報告された。

主な質疑等

- ・ 外部事象に起因する溢水は対象外か。
 - 溢水による起因事象の整理をしているところ。それができれば、地震随件事象とのすみ分けや、内的事象PSAで評価しているものとの関係などがクリアになると思われる。
 - 特に飛来物について気になっているので、整理していただきたい。
 - 基になるデータベースがどこまで用意されているかも調べる必要がある。それも踏まえて議論したい。

(6) 講習会の実施について (RKTC9-6)

成宮幹事より、資料RKTC9-6に沿って、講習会の開催案の説明が行われ、今後各分科会の3役を中心に準備を進めることとなった。

主な質疑等

- ・ 準備をする人間はかなり重なっているので余裕を持ったスケジュールとして欲しい。
- ・ レベル1～3は、別々に参加しても良いとするのか。
 - 個別申込みとはしない。一括申込みとして、それぞれの会社で出席者を選ぶことは認めても良い。
- ・ まずレベル1～3ということだが、パラメータ標準のような標準発行後タイムリーなものを優先するという考え方もある。
 - パラメータ標準の発行のタイミングで、レベル1 PSAをいっしょにやることも考えられる。

(7) 2010春の年会での企画セッション発表結果報告 (RKTC9-7-1～2)

成宮幹事より、資料RKTC9-7-1～2に沿って、春の年会で行った発表の報告が行われた。

主な質疑等

- ・ 会場から、まず事業者が使うべきとの指摘に賛成する。効率化にもつながるので、まず事業者が積極的に利用して欲しい、との意見があった。

(8) ICONE18発表結果報告 (RKTC9-8)

成宮幹事より、資料RKTC9-8に沿って、ICONE18で行ったリスク活用実施基準の概要に関する発表の報告が行われた。

(9) 書面投票の電子化と標準の体系(案)について (RKTC9-11, 9)

事務局より、資料RKTC9-11に基づき、委員用会員制サイトにおける電子投票のテストで大きな問題が無かったこと並びに今後は電子投票を正式に運用開始するとの説明が行われた。

また、資料RKTC9-9に基づき、標準の分類(案)の説明が行われ、各委員にコメントをメールで出すように依頼された。

主な質疑等

- ・ 日本は日本の分類があっても良いと思うが、海外から見た場合に、英語の語感と実際の定義がずれてしまっている可能性がある。
- ・ 電気協会のCODEとGUIDEとも整合を取る必要があるのではないか。
- ・ 標準の分類の実施基準に、JISの実施基準と技術仕様書、検査規格を含む形になっており、定義文自体もJISの実施基準とずれている。日本語の名前も重要なので、3学協会も含めて整合を取るべき。
 - 是非コメントをいただきたい。

(10) その他

成宮幹事より、今後のスケジュール（資料RKTC9-10）について、簡単な紹介があった。次回専門部会日程については別途調整することとした。

以上